

1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課	■担当係	生涯学習係
■評価事業名称	北上平和記念展示館運営費補助金		
■事業開始年度	平成14年度		
■評価事業コード	090200 - 042	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進	
	■施策	02 ふるさとの文化財と伝統文化の継承	
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	貴重な資料の展示環境を整え、来館者のサービス向上を図る。北上平和記念展示館の運営費支援。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	北上平和記念展示館運営費補助金	市民、市外来館者	北上平和記念展示館の管理・運営	来館者数858人、開館日数175日/年

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	434	435	440	309	
人件費		77	381	149	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	434	512	821	458	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	開館日1日当たりコスト	2,149円	2,535円	3,928円	2,618円	フルコスト÷開館日数
02	来館者1人当たりコスト	235円	268円	424円	534円	フルコスト÷来館者数
03	開館日数	202日	202日	209日	175日	月、火曜日を除く4月から年末までの開館日数となっている

04	来館者数	1,847人	1,911人	1,935人	858人	
05	1日あたり来館者数	9.1人	9.5人	9.3人	4.1人	来館者数÷開館日数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

達成状況の分析

■目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

達成状況の分析

展示館の認知度は上がっており、来館者数も増加している(R元年度まで)。R2年度はコロナ禍で開館日数、来館者の数が減少した。

問題点・課題等

施設の老朽化や保存資料の劣化が進んでいる。

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

事業の廃止により重大な問題が発生する

事業の廃止により何らかの問題が発生する

事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

市民生活・企業活動の維持に不可欠

市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している

市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

1. で選択した人の大多数(70%程度)

1. で選択した人の半分以上(50%程度)

1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

民間委託等の拡充は難しい

民間委託等の拡充が十分に可能

全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

今以上の効率化や改善は難しい

効率化や改善を図ることは十分に可能

効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

地域づくり活動を支援する観点から、今後も実施を継続する。

■今後の方向性

I. 拡充

II. 継続

III. 縮小

IV. 廃止・休止

V. 完了

1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課		■担当係	生涯学習係
■評価事業名称	北上平和記念展示館資料保存事業費補助金			
■事業開始年度	令和2年度			
■評価事業コード	090200 - 071	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進		
	■施策	02 ふるさとの文化財と伝統文化の継承		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の概要	北上平和記念展示館の資料保存			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	北上平和記念展示館資料保存事業費補助金			北上平和記念展示館の資料保存に向けた保存環境の充実(書庫整備等)。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費				5,151	
人件費				820	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				5,971	

4. 評価指標等の状況

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

<p>■目標達成状況</p> <p><input checked="" type="radio"/> A. 順調</p> <p><input type="radio"/> B. 概ね順調</p> <p><input type="radio"/> C. 遅れている</p>	<p>達成状況の分析</p> <p>平和記念展示館への寄付金を基に、補助金を交付することで、展示資料の保存環境の向上につながった。</p>	<p>問題点・課題等</p> <p>主に地域に検討いただき、優先度の高いものを整備したが、保存資料のデータ管理などの地域の意向もあり、将来に渡る保存のあり方の検討が必要である。</p>	
<p>1. 直接的な受益者の範囲</p> <p><input type="radio"/> 不特定多数に及ぶ</p> <p><input checked="" type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ</p> <p><input type="radio"/> 特定少数に限定される</p>	<p>2. 国・県・民間との競合関係の有無</p> <p><input checked="" type="radio"/> 類似の事業はない</p> <p><input type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない</p> <p><input type="radio"/> 類似の事業があり競合する</p>		
<p>3. 事業廃止の影響・貢献度</p> <p><input type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する</p> <p><input checked="" type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する</p> <p><input type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない</p>	<p>4. 市民生活・企業活動への貢献度</p> <p><input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠</p> <p><input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している</p> <p><input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い</p>	<p>5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合</p> <p><input type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度)</p> <p><input type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)</p>	
<p>6. 事業へのニーズの変化</p> <p><input type="radio"/> ニーズが高まっている</p> <p><input checked="" type="radio"/> ニーズは変わらない</p> <p><input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない</p>	<p>7. 施策の改善需要度(市民意識調査)</p> <p><input type="radio"/> 順位が高い</p> <p><input type="radio"/> 順位が中程度</p> <p><input checked="" type="radio"/> 順位が低い</p>	<p>8. 施策の優先度(市民意識調査)</p> <p><input type="radio"/> 順位が高い</p> <p><input type="radio"/> 順位が中程度</p> <p><input checked="" type="radio"/> 順位が低い</p>	
<p>9. 他市町村に比較しての優位性</p> <p><input checked="" type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である</p> <p><input type="radio"/> 他と同程度の事業である</p> <p><input type="radio"/> 遅れている事業である</p>	<p>10. 実施主体の代替性</p> <p><input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい</p> <p><input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能</p> <p><input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能</p>	<p>11. 経済性・効率性の向上</p> <p><input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい</p> <p><input type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能</p> <p><input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい</p>	
<p>■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)</p> <p>令和2年度だけの事業であるが、資料保存作業が完了していないことから、記念館のあり方を含めた引き続きの支援が必要である。</p>			<p>■今後の方向性</p> <p><input type="radio"/> I. 拡充</p> <p><input type="radio"/> II. 継続</p> <p><input checked="" type="radio"/> III. 縮小</p> <p><input type="radio"/> IV. 廃止・休止</p> <p><input type="radio"/> V. 完了</p>

1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課		■担当係	芸術文化係
■評価事業名称	北上市民俗芸能推進事業			
■事業開始年度	令和2年1月			
■評価事業コード	090200 - 140	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進		
	■施策	02 ふるさとの文化財と伝統文化の継承		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の概要	「保存伝承」及び「活用」による民俗芸能を生かしたまちづくりを推進するために、R1年6月に発足した北上市民俗芸能協会に安定的及び継続的な民俗芸能の推進を担ってもらうために業務委託をするもの。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	北上市民俗芸能推進事業		業務委託6,262千円	業務委託6,262千円

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費			1,292	6,277	
人件費			381	894	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト			1,673	7,171	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	登録芸能団体数			64団体	64団体	民俗芸能協会登録芸能団体数

5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

■目標達成状況 <input checked="" type="radio"/> A. 順調 <input type="radio"/> B. 概ね順調 <input type="radio"/> C. 遅れている	達成状況の分析 民俗芸能を生かしたまちづくりを推進するため業務委託していることで、事務局が常駐し、さまざまな問い合わせに対応している。芸能発表の場などプロモーション事業が定例化している。	問題点・課題等 社会情勢や少子高齢化などから、アンケート結果の「今後の活動が分からない」が1/4となっており、後継者育成と発表の場の機会の創出など環境の整備が必要である。
1. 直接的な受益者の範囲 <input type="radio"/> 不特定多数に及ぶ <input checked="" type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定少数に限定される	2. 国・県・民間との競合関係の有無 <input checked="" type="radio"/> 類似の事業はない <input type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない <input type="radio"/> 類似の事業があり競合する	
3. 事業廃止の影響・貢献度 <input checked="" type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する <input type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する <input type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない	4. 市民生活・企業活動への貢献度 <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠 <input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い	5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合 <input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)
6. 事業へのニーズの変化 <input type="radio"/> ニーズが高まっている <input checked="" type="radio"/> ニーズは変わらない <input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない	7. 施策の改善需要度(市民意識調査) <input type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input checked="" type="radio"/> 順位が低い	8. 施策の優先度(市民意識調査) <input type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input checked="" type="radio"/> 順位が低い
9. 他市町村に比較しての優位性 <input checked="" type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である <input type="radio"/> 他と同程度の事業である <input type="radio"/> 遅れている事業である	10. 実施主体の代替性 <input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい <input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能 <input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能	11. 経済性・効率性の向上 <input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい <input type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能 <input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

--

■今後の方向性

<input type="radio"/> I. 拡充 <input checked="" type="radio"/> II. 継続 <input type="radio"/> III. 縮小	<input type="radio"/> IV. 廃止・休止 <input type="radio"/> V. 完了
---	--

1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課		■担当係	芸術文化係
■評価事業名称	民俗芸能事業補助金			
■事業開始年度	令和2年度			
■評価事業コード	090200 - 141	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進		
	■施策	02 ふるさとの文化財と伝統文化の継承		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	(未入力)			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	民俗芸能発表イベントの運営費補助			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	民俗芸能事業補助金			民俗芸能発表事業費(2,400千円)民俗芸能による折りと絆の舞(R2.9.12~13)出演市内37団体592人、観客延べ850人

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費				2,400	
人件費					
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				2,400	

4. 評価指標等の状況

5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

■目標達成状況 <input checked="" type="radio"/> A. 順調 <input type="radio"/> B. 概ね順調 <input type="radio"/> C. 遅れている	達成状況の分析 コロナ禍で発表の機会が失われる中で、文化芸術活動の再開の推進や民俗芸能の継承と振興のため、感染防止対策発表の機会を創出した。観客からは、「待ち望んでいた」「民俗芸能のまち北上だからこそできるイベント」と好意的な感想が多かった。	問題点・課題等
1. 直接的な受益者の範囲 <input checked="" type="radio"/> 不特定多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定少数に限定される	2. 国・県・民間との競合関係の有無 <input checked="" type="radio"/> 類似の事業はない <input type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない <input type="radio"/> 類似の事業があり競合する	
3. 事業廃止の影響・貢献度 <input type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する <input checked="" type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する <input type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない	4. 市民生活・企業活動への貢献度 <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠 <input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い	5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合 <input type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度) <input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)
6. 事業へのニーズの変化 <input type="radio"/> ニーズが高まっている <input checked="" type="radio"/> ニーズは変わらない <input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない	7. 施策の改善需要度(市民意識調査) <input type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input checked="" type="radio"/> 順位が低い	8. 施策の優先度(市民意識調査) <input type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input checked="" type="radio"/> 順位が低い
9. 他市町村に比較しての優位性 <input checked="" type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である <input type="radio"/> 他と同程度の事業である <input type="radio"/> 遅れている事業である	10. 実施主体の代替性 <input type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい <input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能 <input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能	11. 経済性・効率性の向上 <input type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい <input checked="" type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能 <input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい
■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む) 今後においては民俗芸能推進事業で検討していく		■今後の方向性 <input type="radio"/> I. 拡充 <input type="radio"/> II. 継続 <input type="radio"/> III. 縮小 <input checked="" type="radio"/> IV. 廃止・休止 <input type="radio"/> V. 完了

1. 基本情報

■事業の担当課	教育部文化財課	■担当係	文化財係
■評価事業名称	職員研修事業		
■事業開始年度			
■評価事業コード	400600 - 011	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進	
	■施策	02 ふるさとの文化財と伝統文化の継承	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務		
■法令等の名称	文化財保護法		
■関連計画の名称	北上市総合計画実施計画		
■事業の概要	埋蔵文化財調査担当職員の専門技術研修への参加及び県内・県外への研修派遣等により、より新しい専門的な知識・技能の取得		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	職員研修	市民、職員	○奈良国立文化財研究所文化財専門研修1名参加。	○奈良国立文化財研究所文化財専門研修に1名参加予定だったが、コロナウイルス感染症対策により不参加。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	96	211	255		
人件費	1,908	384	305	937	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,004	595	560	937	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	研修回数	奈文研研修1回。	奈文研研修1回	奈文研研修1回	参加なし	専門的技能・知識の習得に必要な研修への派遣回数
02	所外研修	所外研修1回	所外研修1回	所外研修3回	参加なし	所外研修回数

03 研修1回あたりコスト	奈文研研修は全史協から一部補助。県外研修34千円	奈文研研修は東北地区協から一部補助50千円	奈文研研修は全史協から一部補助50千円、県外研修85千円	補助なし	研修1回あたりの事業費
---------------	--------------------------	-----------------------	------------------------------	------	-------------

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

達成状況の分析

問題点・課題等

■目標達成状況

○ A. 順調
○ B. 概ね順調
● C. 遅れている

新型コロナウイルス感染症の流行に伴う研修の規模縮小や中止等により、予定していた研修に参加できなくなっている。

感染症の流行状況が先行き不透明な状態であり、計画されている研修が予定どおり開催されるか分からない。

1. 直接的な受益者の範囲

○ 不特定多数に及ぶ
● 特定されるが多数に及ぶ
○ 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

● 類似の事業はない
○ 類似の事業はあるが競合はない
○ 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

● 事業の廃止により重大な問題が発生する
○ 事業の廃止により何らかの問題が発生する
○ 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

○ 市民生活・企業活動の維持に不可欠
● 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
○ 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

● 1. で選択した人の大多数(70%程度)
○ 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
○ 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

○ ニーズが高まっている
● ニーズは変わらない
○ ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

○ 順位が高い
○ 順位が中程度
● 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

○ 順位が高い
○ 順位が中程度
● 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

○ 先進的またはユニークな事業である
● 他と同程度の事業である
○ 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

● 民間委託等の拡充は難しい
○ 民間委託等の拡充が十分に可能
○ 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

● 今以上の効率化や改善は難しい
○ 効率化や改善を図ることは十分に可能
○ 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

文化財専門職員は、専門的な知識・技術が求められ、専門研修に参加することで、知識・技術を習得し、より事業の効率化を図ることができる。感染症の流行状況や対策を注視し、研修への参加を継続していく。

■今後の方向性

○ I. 拡充
● II. 継続
○ III. 縮小
○ IV. 廃止・休止
○ V. 完了

1. 基本情報

■事業の担当課	教育部文化財課		■担当係	文化財係
■評価事業名称	全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会負担金			
■事業開始年度	平成3年度			
■評価事業コード	400600 - 020	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進		
	■施策	02 ふるさとの文化財と伝統文化の継承		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	文化財保護法			
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	会員機関の情報交換により、各機関の業務効率の改善。全国の公立埋蔵文化財センターによる情報交換のための組織			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会負担金	職員、関係機関	○年会費の納入。○総会・ブロック会議・研修会への参加。	○年会費の納入。○総会には不参加、研修会は開催せず。ブロック会議を书面開催し、照会事項に回答。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	25	25	25	15	
人件費	76	154	534	78	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	101	179	559	93	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	負担金納入回数	1回	1回	1回	1回	負担金の納入回数
02	納入回数1回あたりコスト	25千円	25千円	25千円	25千円	負担金の額
03	刊行物の受領	2回	2回	2回		連絡協議会の定期刊行物の受領回数

5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

<p>■目標達成状況</p> <p><input type="radio"/> A. 順調</p> <p><input type="radio"/> B. 概ね順調</p> <p><input checked="" type="radio"/> C. 遅れている</p>	<p>達成状況の分析</p> <p>コロナ禍の中、総会は書面表決、研修等は中止となり、各機関からの情報を詳細に得ることはできなかった。</p>	<p>問題点・課題等</p>
<p>1. 直接的な受益者の範囲</p> <p><input checked="" type="radio"/> 不特定多数に及ぶ</p> <p><input type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ</p> <p><input type="radio"/> 特定少数に限定される</p>	<p>2. 国・県・民間との競合関係の有無</p> <p><input checked="" type="radio"/> 類似の事業はない</p> <p><input type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない</p> <p><input type="radio"/> 類似の事業があり競合する</p>	
<p>3. 事業廃止の影響・貢献度</p> <p><input checked="" type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する</p> <p><input type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する</p> <p><input type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない</p>	<p>4. 市民生活・企業活動への貢献度</p> <p><input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠</p> <p><input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している</p> <p><input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い</p>	<p>5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合</p> <p><input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度)</p> <p><input type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度)</p> <p><input type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)</p>
<p>6. 事業へのニーズの変化</p> <p><input checked="" type="radio"/> ニーズが高まっている</p> <p><input type="radio"/> ニーズは変わらない</p> <p><input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない</p>	<p>7. 施策の改善需要度(市民意識調査)</p> <p><input type="radio"/> 順位が高い</p> <p><input type="radio"/> 順位が中程度</p> <p><input checked="" type="radio"/> 順位が低い</p>	<p>8. 施策の優先度(市民意識調査)</p> <p><input type="radio"/> 順位が高い</p> <p><input type="radio"/> 順位が中程度</p> <p><input checked="" type="radio"/> 順位が低い</p>
<p>9. 他市町村に比較しての優位性</p> <p><input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である</p> <p><input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である</p> <p><input type="radio"/> 遅れている事業である</p>	<p>10. 実施主体の代替性</p> <p><input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい</p> <p><input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能</p> <p><input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能</p>	<p>11. 経済性・効率性の向上</p> <p><input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい</p> <p><input type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能</p> <p><input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい</p>
<p>■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)</p> <p>連絡協議会への加盟により、埋蔵文化財調査の質の向上と効率化を図るうえで必要な、課題解決や新知見の情報を得ることができる。他機関と連携を図り、広域的な文化財保護・活用の情報を共有するために、今後も継続実施の必要がある。</p>		
<p>■今後の方向性</p> <p><input type="radio"/> I. 拡充</p> <p><input checked="" type="radio"/> II. 継続</p> <p><input type="radio"/> III. 縮小</p> <p><input type="radio"/> IV. 廃止・休止</p> <p><input type="radio"/> V. 完了</p>		

1. 基本情報

■事業の担当課	教育部文化財課	■担当係	文化財係
■評価事業名称	文化財保護審議会		
■事業開始年度	平成3年度		
■評価事業コード	400600 - 038	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進	
	■施策	02 ふるさとの文化財と伝統文化の継承	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称	北上市文化財保護審議会条例		
■関連計画の名称	北上市総合計画実施計画、北上市教育振興基本計画		
■事業の目的と概要	市内に所在している文化財のうち重要な物件を指定し保護保存する。文化財保護に関する調査・審議。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	文化財保護審議会	市民、委員、市内所在文化財	○会議回数2回	○会議開催回数1回。出席委員7人(委員7名)。報告事項7件。協議件数2件。○書面決議1回。参加委員6人(委員7名)。会長選出。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	59	42		128	
人件費	1,526	2,382	1,067	1,483	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,585	2,424	1,067	1,611	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	諮問、協議案件件数	諮問1件、報告4件	協議1件、報告7件	なし	協議2件、報告7件	会議において諮問・協議等を行った件数
02	会議1回当たりコスト					フルコスト÷会議数
03	付議案件1件当たりコスト					

04 会議開催回数	1回	1回	なし	1回	会議の開催回数
-----------	----	----	----	----	---------

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況	達成状況の分析	問題点・課題等
<input type="radio"/> A. 順調 <input checked="" type="radio"/> B. 概ね順調 <input type="radio"/> C. 遅れている	市内所在の文化財について、重要な物件を文化財指定に向けて調査・審議出来ている。	委員の年齢構成が高くなっており、世代交代が課題である。

1. 直接的な受益者の範囲	2. 国・県・民間との競合関係の有無	3. 事業廃止の影響・貢献度	4. 市民生活・企業活動への貢献度	5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合
<input type="radio"/> 不特定多数に及ぶ <input checked="" type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定少数に限定される	<input checked="" type="radio"/> 類似の事業はない <input type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない <input type="radio"/> 類似の事業があり競合する	<input checked="" type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する <input type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する <input type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない	<input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠 <input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い	<input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)
6. 事業へのニーズの変化	7. 施策の改善需要度(市民意識調査)	8. 施策の優先度(市民意識調査)		
<input type="radio"/> ニーズが高まっている <input checked="" type="radio"/> ニーズは変わらない <input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない	<input type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input checked="" type="radio"/> 順位が低い	<input type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input checked="" type="radio"/> 順位が低い		
9. 他市町村に比較しての優位性	10. 実施主体の代替性	11. 経済性・効率性の向上		
<input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である <input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である <input type="radio"/> 遅れている事業である	<input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい <input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能 <input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能	<input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい <input type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能 <input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい		

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

市内所在の重要な物件の文化財指定を進め、保護保存を図るために、専門的な知識を備えた委員による調査・審議の場として、本審議会の設置は不可欠である。

■今後の方向性

- | | |
|---|---------------------------------|
| <input type="radio"/> I. 拡充 | <input type="radio"/> IV. 廃止・休止 |
| <input checked="" type="radio"/> II. 継続 | <input type="radio"/> V. 完了 |
| <input type="radio"/> III. 縮小 | |

1. 基本情報

■事業の担当課	教育部文化財課	■担当係	文化財係
■評価事業名称	文化財事業推進団体負担金		
■事業開始年度	平成3年度		
■評価事業コード	400600 - 039	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進	
	■施策	02 ふるさとの文化財と伝統文化の継承	
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称	文化財保護法		
■関連計画の名称	北上市総合計画実施計画		
■事業の目的と概要	文化財や史跡等の保護、活用、施設整備事業推進のため。負担金の納入、理事会・総会への出席、研修会への出席、文化財保護事業推進のための補助金要望運動		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	岩手県文化財愛護協会負担金	岩手県文化財愛護協会	○年会費納入○総会1回	○年会費納入○総会書面表決
02	全国民俗芸能保存振興市町村連盟会費	全国民俗芸能保存振興市町村連盟	○年会費納入○北上市長は理事○理事会及び研修会1回	○年会費納入○北上市長は理事○理事会は書面表決○事業支援補助金1件採択(30,000円藤根地振興会)
03	全国史跡整備市町村協議会負担金	全国史跡整備市町村協議会	○年会費納入○協議大会1回、臨時総会1回 ○研修会補助	○年会費納入○協議大会1回書面表決○研修会補助はコロナで中止
04	全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会負担金	全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会	○北上市長は理事○年会費納入○総会・役員会1回	○北上市長は理事○年会費納入○総会・役員会は書面表決
05	岩手県史跡整備市町村協議会負担金	岩手県史跡整備市町村協議会	○北上市長は理事○年会費納入○協議会役員会1回、研修会1回	○北上市長は理事○年会費納入○協議会役員会1回、研修会1回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	117	117	117	117	
人件費	76	77	76	78	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	193	194	193	195	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	負担金納入回数	5回	5回	5回	5回	事務事業の統廃合等整理により、活動指標を変更
02	総会研修会等参加回数	3回	3回	3回	総会5回(うち書面表決4)、研修会1回	事務事業の統廃合等整理により、活動指標を追加
03	研修補助金受領割合	$\frac{89,110}{20 \times 100} = 49.1\%$	$\frac{50,000 + 210,740}{0 \times 100} = 23.7$	$\frac{50,000}{0 \times 100} = 29.5$	$0 \div 0 \times 100 = 0$	受領額 ÷ 申請額 × 100
04	負担金納入1回当たりコスト					
05	参加回数1回当たりコスト					

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

エリア別や全国組織に加盟することで、関連分野の課題や対応事例を共有することができた。コロナ禍における文化財の記録や保存について意見交換することができた。

問題点・課題等

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

事務事業事後評価シート[令和2年度事業]

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了

1. 基本情報

■事業の担当課	教育部文化財課	■担当係	文化財係
■評価事業名称	民俗芸能保存振興補助金		
■事業開始年度	平成3年度		
■評価事業コード	400600 - 051	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進	
	■施策	02 ふるさとの文化財と伝統文化の継承	
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称	北上市総合計画実施計画、北上市教育振興基本計画		
■事業の概要	市内民俗芸能団体連合会の活動を支援するとともに、民俗芸能を保存伝承している単位団体の伝承活動の支援と育成を図る。民俗芸能団体連合会の運営費助成と活動支援、民俗芸能保存団体が伝承活動するための衣装整備費や道具等修繕費の補助(令和元年から民俗芸能団体連合会への補助金交付は中止)		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	北上市民俗芸能団体連合会運営費補助金	北上市民俗芸能団体連合会	計画なし	なし
02	民俗芸能保存育成等補助金	民俗芸能団体	芸能用具整備費の助成 4団体	芸能用具整備費の助成 2団体

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	496	598	305	71	
人件費	3,892	845	991	468	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	4,388	1,443	1,296	539	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	補助金の交付団体数	3団体	4団体	3団体	2団体	事務事業の統廃合整理により、活動指標を変更。要望額の大きい団体については、県文化振興基金を斡旋し対応した。

02	民俗芸能団体連合会に加入している団体数	63団体	63団体	連合会が組織変更、団体数不明。	連合会が組織変更。該当64団体。	民俗芸能団体連合会の総会資料掲載の団体数
03	事業費補助金交付率	100%	100%	100%	100%	交付件数÷申請件数による割合(辞退は除く)
04	連合会事業費への補助金充当率	32.6%	29.3%	補助金の交付無	補助金の交付無	連合会補助金の額÷総事業費により算出した割合

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

<p>■目標達成状況</p> <p><input type="radio"/> A. 順調</p> <p><input checked="" type="radio"/> B. 概ね順調</p> <p><input type="radio"/> C. 遅れている</p>	<p>達成状況の分析</p> <p>希望する団体への補助金交付は100%であり、他の助成金等の紹介と併せて団体の事業実現に結びつけることができている。</p>	<p>問題点・課題等</p> <p>自己資金の少ない団体が補助金を活用しづらい。</p>
---	---	--

<p>1. 直接的な受益者の範囲</p> <p><input type="radio"/> 不特定多数に及ぶ</p> <p><input type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ</p> <p><input checked="" type="radio"/> 特定少数に限定される</p>	<p>2. 国・県・民間との競合関係の有無</p> <p><input type="radio"/> 類似の事業はない</p> <p><input checked="" type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない</p> <p><input type="radio"/> 類似の事業があり競合する</p>	<p>5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合</p> <p><input type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度)</p> <p><input type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)</p>
<p>3. 事業廃止の影響・貢献度</p> <p><input type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する</p> <p><input checked="" type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する</p> <p><input type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない</p>	<p>4. 市民生活・企業活動への貢献度</p> <p><input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠</p> <p><input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している</p> <p><input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い</p>	<p>8. 施策の優先度(市民意識調査)</p> <p><input type="radio"/> 順位が高い</p> <p><input type="radio"/> 順位が中程度</p> <p><input checked="" type="radio"/> 順位が低い</p>
<p>6. 事業へのニーズの変化</p> <p><input checked="" type="radio"/> ニーズが高まっている</p> <p><input type="radio"/> ニーズは変わらない</p> <p><input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない</p>	<p>7. 施策の改善需要度(市民意識調査)</p> <p><input type="radio"/> 順位が高い</p> <p><input type="radio"/> 順位が中程度</p> <p><input checked="" type="radio"/> 順位が低い</p>	<p>11. 経済性・効率性の向上</p> <p><input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい</p> <p><input type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能</p> <p><input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい</p>
<p>9. 他市町村に比較しての優位性</p> <p><input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である</p> <p><input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である</p> <p><input type="radio"/> 遅れている事業である</p>	<p>10. 実施主体の代替性</p> <p><input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい</p> <p><input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能</p> <p><input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能</p>	

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

--

■今後の方向性

<input type="radio"/> I. 拡充	<input type="radio"/> IV. 廃止・休止
<input checked="" type="radio"/> II. 継続	<input type="radio"/> V. 完了
<input type="radio"/> III. 縮小	

1. 基本情報

■事業の担当課	教育部文化財課		■担当係	文化財係
■評価事業名称	文化財悉皆調査記録保存事業			
■事業開始年度	平成24年度			
■評価事業コード	400600 - 080	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進		
	■施策	02 ふるさとの文化財と伝統文化の継承		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市総合計画実施計画、北上市教育振興基本計画			
■事業の目的と概要	地域の未指定文化財をテーマごとに全市的に調査し、その所在や保存状況、価値等を把握するとともに価値ある文化財の保存伝承に資する。また郷土の歴史や文化を学習する文献資料として活用を図る。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	文化財悉皆調査記録保存事業	市民、市内所在文化財	鰐口の詳細調査。	未指定文化財の調査準備(鰐口・絵馬)0件

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	102	15	19	6	
人件費	2,401	538	76	78	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,503	553	95	84	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	調査対象とする文化財の調査件数	鰐口8点、絵馬41点(基礎調査)	鰐口2点(基礎調査)	鰐口2点(基礎調査)	鰐口0点	
02	調査対象とする文化財の調査委員会議回数					

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況 <input type="radio"/> A. 順調 <input type="radio"/> B. 概ね順調 <input checked="" type="radio"/> C. 遅れている	達成状況の分析 コロナ禍、他業務との調整等で集中的な調査が実施できずにおり、遅れている。	問題点・課題等
1. 直接的な受益者の範囲 <input checked="" type="radio"/> 不特定多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定少数に限定される	2. 国・県・民間との競合関係の有無 <input type="radio"/> 類似の事業はない <input checked="" type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない <input type="radio"/> 類似の事業があり競合する	
3. 事業廃止の影響・貢献度 <input type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する <input checked="" type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する <input type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない	4. 市民生活・企業活動への貢献度 <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠 <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している <input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い	5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合 <input type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度) <input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)
6. 事業へのニーズの変化 <input type="radio"/> ニーズが高まっている <input checked="" type="radio"/> ニーズは変わらない <input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない	7. 施策の改善需要度(市民意識調査) <input type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input checked="" type="radio"/> 順位が低い	8. 施策の優先度(市民意識調査) <input type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input checked="" type="radio"/> 順位が低い
9. 他市町村に比較しての優位性 <input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である <input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である <input type="radio"/> 遅れている事業である	10. 実施主体の代替性 <input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい <input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能 <input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能	11. 経済性・効率性の向上 <input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい <input type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能 <input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

年間計画の作成、役割分担の明確化

■今後の方向性

<input type="radio"/> I. 拡充 <input checked="" type="radio"/> II. 継続 <input type="radio"/> III. 縮小	<input type="radio"/> IV. 廃止・休止 <input type="radio"/> V. 完了
---	--

1. 基本情報

■事業の担当課	教育部文化財課		■担当係	文化財係
■評価事業名称	収蔵資料等公開事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	400600 - 109	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進		
	■施策	02 ふるさとの文化財と伝統文化の継承		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	文化財保護法			
■関連計画の名称	北上市総合計画実施計画、北上市教育振興基本計画			
■事業の目的と概要	○埋蔵文化財展・発掘調査報告会等、市内で実施された発掘調査の成果に関する公開事業の開催。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	資料等公開事業	市民、関係機関	○写真展 ○現地説明会 ○埋蔵文化財展 ○発掘調査報告会 ○埋蔵文化財講演会 ○出前講師	○写真展(3会場・3.5か月間)○現地説明会(八天遺跡)1件(87名参加)○埋蔵文化財展(20日間・928人)○出前講座(2件)○ミニ展示会(江釣子地区交流センター)1件(2か月間)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	397	435	365	418	
人件費	6,650	5,443	4,697	3,434	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	7,047	5,878	5,062	3,852	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	埋蔵文化財展	入場者522人	入場者341人	入場者1,028人	入場者928人	埋蔵文化財展入場者数
02	出前講師	7件	13件	11件	2件	出前講師開催件数
03	講演会・報告会	入場者74人	入場者108人	入場者125人	開催せず	埋蔵文化財講演会・発掘調査報告会入場者数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

達成状況の分析

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講演会・報告会を開催出来ず、出前講師も依頼が減少したが、埋蔵文化財展は例年通り開催し、発掘調査の現地説明会でも多数の参加を得た。

問題点・課題等

新型コロナウイルスの収束が見通せない中では、実施できない事業や、実施しても効果が思うにまかせないものがある。

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

事業の廃止により重大な問題が発生する

事業の廃止により何らかの問題が発生する

事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

市民生活・企業活動の維持に不可欠

市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している

市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

1. で選択した人の大多数(70%程度)

1. で選択した人の半分程度(50%程度)

1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

民間委託等の拡充は難しい

民間委託等の拡充が十分に可能

全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

今以上の効率化や改善は難しい

効率化や改善を図ることは十分に可能

効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

本事業は、発掘調査の結果を市民に還元・普及するものであり、これを欠くことは、土地の開発行為を行う上で法令上不可欠な、埋蔵文化財調査に対する市民の理解を損なうことに直結するため、継続・充実させる必要がある。

■今後の方向性

I. 拡充

II. 継続

III. 縮小

IV. 廃止・休止

V. 完了

1. 基本情報

■事業の担当課	教育部文化財課		■担当係	文化財係
■評価事業名称	北上市民俗芸能支援事業			
■事業開始年度	平成30年度			
■評価事業コード	400600 - 112	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進		
	■施策	02 ふるさとの文化財と伝統文化の継承		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	北上の民俗芸能団体の芸能発表の機会を創出し、民俗芸能への理解を深め、芸能団体への活動支援、協力を呼びかける。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	北上市民俗芸能支援事業	市民、民俗芸能団体	市内民俗芸能団体6団体の解説付き芸能発表。	新型コロナウイルス感染症予防のため中止

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費		228	179		
人件費		5,072	4,116	78	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト		5,300	4,295	78	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	事業により公演機会等の創出があった団体		5団体	5団体	0団体	出演団体数

5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

■目標達成状況 <input type="radio"/> A. 順調 <input type="radio"/> B. 概ね順調 <input checked="" type="radio"/> C. 遅れている	達成状況の分析 コロナ禍により催事の開催が困難で実施を見送っている。	問題点・課題等 コロナ禍、アフターコロナの民俗芸能振興策の検討。(記録保存、道具製作技術の伝承等含む)
1. 直接的な受益者の範囲 <input type="radio"/> 不特定多数に及ぶ <input checked="" type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定少数に限定される	2. 国・県・民間との競合関係の有無 <input type="radio"/> 類似の事業はない <input checked="" type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない <input type="radio"/> 類似の事業があり競合する	
3. 事業廃止の影響・貢献度 <input type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する <input checked="" type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する <input type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない	4. 市民生活・企業活動への貢献度 <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠 <input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い	5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合 <input type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度) <input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)
6. 事業へのニーズの変化 <input checked="" type="radio"/> ニーズが高まっている <input type="radio"/> ニーズは変わらない <input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない	7. 施策の改善需要度(市民意識調査) <input type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input checked="" type="radio"/> 順位が低い	8. 施策の優先度(市民意識調査) <input type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input checked="" type="radio"/> 順位が低い
9. 他市町村に比較しての優位性 <input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である <input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である <input type="radio"/> 遅れている事業である	10. 実施主体の代替性 <input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい <input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能 <input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能	11. 経済性・効率性の向上 <input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい <input type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能 <input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

--

■今後の方向性

<input type="radio"/> I. 拡充 <input checked="" type="radio"/> II. 継続 <input type="radio"/> III. 縮小	<input type="radio"/> IV. 廃止・休止 <input type="radio"/> V. 完了
---	--

1. 基本情報

■事業の担当課	教育部文化財課		■担当係	文化財係
■評価事業名称	カモシカ処理事業			
■事業開始年度	平成30年度			
■評価事業コード	400600 - 113	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進		
	■施策	02 ふるさとの文化財と伝統文化の継承		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の概要	特別天然記念物カモシカ死骸の処理をするもの。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	カモシカ処理事業	特別天然記念物カモシカ	特別天然記念物カモシカ死骸10件の処理。	特別天然記念物カモシカ死骸6件の処理。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費		247	271	198	
人件費		5,456	6,250	1,483	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト		5,703	6,521	1,681	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	カモシカ処理件数		8頭	7頭	6頭	

5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

■目標達成状況 <input checked="" type="radio"/> A. 順調 <input type="radio"/> B. 概ね順調 <input type="radio"/> C. 遅れている	達成状況の分析 通報のあったカモシカの死骸のすべてを回収し、焼却処分できた。	問題点・課題等 特別天然記念物であるカモシカは、死骸の状況、測定等を記録し、処理する必要があるが、記録・処理全てを任せられる業者が見つからない。
1. 直接的な受益者の範囲 <input checked="" type="radio"/> 不特定多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定少数に限定される	2. 国・県・民間との競合関係の有無 <input type="radio"/> 類似の事業はない <input checked="" type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない <input type="radio"/> 類似の事業があり競合する	
3. 事業廃止の影響・貢献度 <input type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する <input checked="" type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する <input type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない	4. 市民生活・企業活動への貢献度 <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠 <input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い	5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合 <input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)
6. 事業へのニーズの変化 <input checked="" type="radio"/> ニーズが高まっている <input type="radio"/> ニーズは変わらない <input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない	7. 施策の改善需要度(市民意識調査) <input type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input checked="" type="radio"/> 順位が低い	8. 施策の優先度(市民意識調査) <input type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input checked="" type="radio"/> 順位が低い
9. 他市町村に比較しての優位性 <input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である <input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である <input type="radio"/> 遅れている事業である	10. 実施主体の代替性 <input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい <input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能 <input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能	11. 経済性・効率性の向上 <input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい <input type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能 <input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

全作業を委託できる事業者が見つかるまで、担当課で記録作成、回収作業を行い、解体処理業者に死骸の解体、焼却を委託する体制を維持する。

■今後の方向性

- | | |
|---|---------------------------------|
| <input type="radio"/> I. 拡充 | <input type="radio"/> IV. 廃止・休止 |
| <input checked="" type="radio"/> II. 継続 | <input type="radio"/> V. 完了 |
| <input type="radio"/> III. 縮小 | |

1. 基本情報

■事業の担当課	教育部文化財課		■担当係	文化財係
■評価事業名称	八天遺跡保存活用・整備計画策定事業			
■事業開始年度	平成30年度			
■評価事業コード	400600 - 116	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進		
	■施策	02 ふるさとの文化財と伝統文化の継承		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	文化財保護法			
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	国指定史跡八天遺跡の保存活用を図るため遺跡の整備を行う。市民の歴史学習の場としての活用とともに、更木地区のシンボルの1つとし、地域づくりの活性化、交流人口の増加を目指す。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	八天遺跡保存活用・整備計画策定事業	市民、国指定史跡八天遺跡	○文化庁・県教育委員会との協議調整 ○補助金申請準備○保存活用計画策定委員会の開催○更木地区との協議調整	○保存活用計画等策定委員会委員委嘱○保存活用計画等策定委員会開催(3回)○令和3年度国庫補助金申請

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費		145	32	302	
人件費		2,613	3,201	5,854	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト		2,758	3,233	6,156	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	意見交換会開催回数		1回	1回	0回	地元との意見交換機会の開催回数
02	保存活用計画等策定委員会開催回数		0回	0回	3回	有識者と地元の代表者による計画策定のための検討回数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況	達成状況の分析	問題点・課題等
	予定通り3回の策定委員会を開催し、保存活用計画の前半部分の検討を実施した。	予定通り進んでおり、令和3年度に保存活用計画を策定予定。
● A. 順調 ○ B. 概ね順調 ○ C. 遅れている		
1. 直接的な受益者の範囲	2. 国・県・民間との競合関係の有無	5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合
● 不特定多数に及ぶ ○ 特定されるが多数に及ぶ ○ 特定少数に限定される	● 類似の事業はない ○ 類似の事業はあるが競合はない ○ 類似の事業があり競合する	● 1. で選択した人の大多数(70%程度) ○ 1. で選択した人の半分程度(50%程度) ○ 1. で選択した人の少数(30%程度)
3. 事業廃止の影響・貢献度	4. 市民生活・企業活動への貢献度	8. 施策の優先度(市民意識調査)
● 事業の廃止により重大な問題が発生する ○ 事業の廃止により何らかの問題が発生する ○ 事業の廃止による問題は想定されない	○ 市民生活・企業活動の維持に不可欠 ● 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している ○ 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い	○ 順位が高い ○ 順位が中程度 ● 順位が低い
6. 事業へのニーズの変化	7. 施策の改善需要度(市民意識調査)	11. 経済性・効率性の向上
● ニーズが高まっている ○ ニーズは変わらない ○ ニーズが低下している又は合致しない	○ 順位が高い ○ 順位が中程度 ● 順位が低い	● 今以上の効率化や改善は難しい ○ 効率化や改善を図ることは十分に可能 ○ 効率化や改善の余地が大きい
9. 他市町村に比較しての優位性	10. 実施主体の代替性	
○ 先進的またはユニークな事業である ● 他と同程度の事業である ○ 遅れている事業である	● 民間委託等の拡充は難しい ○ 民間委託等の拡充が十分に可能 ○ 全部委託や実施主体の移行が可能	
■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)		■今後の方向性
保存活用・整備基本計画の策定は、史跡整備の前提であり、策定せねば史跡の整備、活用は不可能である。保存活用計画と整備基本計画を策定し、具体的な整備を進めて行く必要がある。		● I. 拡充 ○ II. 継続 ○ III. 縮小 ○ IV. 廃止・休止 ○ V. 完了

1. 基本情報

■事業の担当課	教育部文化財課		■担当係	文化財係
■評価事業名称	文化財説明板等設置事業			
■事業開始年度	平成31年度			
■評価事業コード	400600 - 119	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進		
	■施策	02 ふるさとの文化財と伝統文化の継承		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称	市文化財保護条例			
■関連計画の名称	市教育振興基本計画			
■事業の目的と概要	市内に所在する指定文化財や旧跡等の説明板等を整備することで文化財の価値を正しく伝え、保護や活用を促そうとするもの。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	文化財説明板等設置事業	市内の指定文化財や旧跡等	指定文化財の説明板 1か所	指定文化財のQRコード付き標柱設置 1箇所

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費			138	38	
人件費			3,354	1,327	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト			3,492	1,365	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	設置した説明板数			1か所	1か所	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況 <input type="radio"/> A. 順調 <input checked="" type="radio"/> B. 概ね順調 <input type="radio"/> C. 遅れている	達成状況の分析 状況に合わせて設置計画を柔軟に変更しながら、毎年度1基程度を新設することができている。	問題点・課題等 設置後の管理、各種届出の更新失念防止。
1. 直接的な受益者の範囲 <input checked="" type="radio"/> 不特定多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定少数に限定される	2. 国・県・民間との競合関係の有無 <input type="radio"/> 類似の事業はない <input checked="" type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない <input type="radio"/> 類似の事業があり競合する	
3. 事業廃止の影響・貢献度 <input type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する <input checked="" type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する <input type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない	4. 市民生活・企業活動への貢献度 <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠 <input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い	5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合 <input type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度) <input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)
6. 事業へのニーズの変化 <input type="radio"/> ニーズが高まっている <input checked="" type="radio"/> ニーズは変わらない <input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない	7. 施策の改善需要度(市民意識調査) <input type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input checked="" type="radio"/> 順位が低い	8. 施策の優先度(市民意識調査) <input type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input checked="" type="radio"/> 順位が低い
9. 他市町村に比較しての優位性 <input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である <input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である <input type="radio"/> 遅れている事業である	10. 実施主体の代替性 <input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい <input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能 <input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能	11. 経済性・効率性の向上 <input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい <input type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能 <input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

--

■今後の方向性

<input type="radio"/> I. 拡充 <input checked="" type="radio"/> II. 継続 <input type="radio"/> III. 縮小	<input type="radio"/> IV. 廃止・休止 <input type="radio"/> V. 完了
---	--

1. 基本情報

■事業の担当課	教育部文化財課		■担当係	文化財係
■評価事業名称	民俗芸能振興交流事業			
■事業開始年度	令和2年度			
■評価事業コード	400600 - 122	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進		
	■施策	02 ふるさとの文化財と伝統文化の継承		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	定住自立圏域による民俗芸能団体の公演及び交流事業 偶数年度 北上市開催 奇数年度 奥州市開催			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	民俗芸能振興交流事業	定住自立圏域の民俗芸能	圏域の民俗芸能公演 5団体	新型コロナウイルス感染症予防のため中止

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費					定住自立圏担当者会議の実施等
人件費				937	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				937	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
	派遣団体数				0団体	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況 ○ A. 順調 ○ B. 概ね順調 ● C. 遅れている	達成状況の分析 コロナ禍のため交流事業を中止したが、定住自立圏の担当者との交流の進め方について協議の場を持ち、共通認識を持つことができた。	問題点・課題等 コロナ禍でも可能な交流方法の検討。公演実施に必要な感染防止策の検討。
	1. 直接的な受益者の範囲 ○ 不特定多数に及ぶ ● 特定されるが多数に及ぶ ○ 特定少数に限定される	2. 国・県・民間との競合関係の有無 ○ 類似の事業はない ○ 類似の事業はあるが競合はない ○ 類似の事業があり競合する
3. 事業廃止の影響・貢献度 ○ 事業の廃止により重大な問題が発生する ● 事業の廃止により何らかの問題が発生する ○ 事業の廃止による問題は想定されない	4. 市民生活・企業活動への貢献度 ○ 市民生活・企業活動の維持に不可欠 ● 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している ○ 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い	8. 施策の優先度(市民意識調査) ○ 順位が高い ○ 順位が中程度 ● 順位が低い
6. 事業へのニーズの変化 ○ ニーズが高まっている ● ニーズは変わらない ○ ニーズが低下している又は合致しない	7. 施策の改善需要度(市民意識調査) ○ 順位が高い ○ 順位が中程度 ● 順位が低い	11. 経済性・効率性の向上 ● 今以上の効率化や改善は難しい ○ 効率化や改善を図ることは十分に可能 ○ 効率化や改善の余地が大きい
9. 他市町村に比較しての優位性 ● 先進的またはユニークな事業である ○ 他と同程度の事業である ○ 遅れている事業である	10. 実施主体の代替性 ● 民間委託等の拡充は難しい ○ 民間委託等の拡充が十分に可能 ○ 全部委託や実施主体の移行が可能	

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

--

■今後の方向性

○ I. 拡充	○ IV. 廃止・休止
● II. 継続	○ V. 完了
○ III. 縮小	

1. 基本情報

■事業の担当課	教育部文化財課		■担当係	文化財係
■評価事業名称	民俗芸能継承助成金			
■事業開始年度				
■評価事業コード	400600 - 124	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進		
	■施策	02 ふるさとの文化財と伝統文化の継承		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	(未入力)			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	市内民俗芸能団体の継承活動を後押しする交付金の交付新型コロナウイルス感染拡大防止のため公演の機会が激減した民俗芸能団体に対する継承支援として一律100,000円の交付市内推定団体数 100団体			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	民俗芸能継承助成金	民俗芸能団体		交付決定85団体

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費				8,500	
人件費				2,732	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				11,232	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
	交付決定団体数				85団体	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況 <input checked="" type="radio"/> A. 順調 <input type="radio"/> B. 概ね順調 <input type="radio"/> C. 遅れている	達成状況の分析 交付を希望しない団体を除き、該当する団体に助成金を交付することができた。また、交付事務を通じ、市内芸能団体の活動状況把握に繋がった。	問題点・課題等
1. 直接的な受益者の範囲 <input type="radio"/> 不特定多数に及ぶ <input checked="" type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定少数に限定される	2. 国・県・民間との競合関係の有無 <input checked="" type="radio"/> 類似の事業はない <input type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない <input type="radio"/> 類似の事業があり競合する	
3. 事業廃止の影響・貢献度 <input type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する <input type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が生ずる <input checked="" type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない	4. 市民生活・企業活動への貢献度 <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠 <input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い	5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合 <input type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度) <input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)
6. 事業へのニーズの変化 <input type="radio"/> ニーズが高まっている <input type="radio"/> ニーズは変わらない <input checked="" type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない	7. 施策の改善需要度(市民意識調査) <input type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input checked="" type="radio"/> 順位が低い	8. 施策の優先度(市民意識調査) <input type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input checked="" type="radio"/> 順位が低い
9. 他市町村に比較しての優位性 <input checked="" type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である <input type="radio"/> 他と同程度の事業である <input type="radio"/> 遅れている事業である	10. 実施主体の代替性 <input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい <input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能 <input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能	11. 経済性・効率性の向上 <input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい <input type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能 <input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

--

■今後の方向性

<input type="radio"/> I. 拡充 <input type="radio"/> II. 継続 <input type="radio"/> III. 縮小	<input type="radio"/> IV. 廃止・休止 <input checked="" type="radio"/> V. 完了
--	---

1. 基本情報

■事業の担当課	鬼の館	■担当係	鬼の館
■評価事業名称	伝統文化継承事業		
■事業開始年度	平成6年度		
■評価事業コード	418300 - 006	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進	
	■施策	02 ふるさとの文化財と伝統文化の継承	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	民俗芸能の保存伝承と後継者育成の一助となり、鑑賞者の伝統文化に対する意識が向上する。解説を交えた鬼剣舞公演や大乗神楽団体の総合的な公演、地域の慣習等を参加体験型で紹介する催事等を開催する。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	芸能公演	一般	●開催回数 13回 ●見学者数 1,800人	●開催回数 10回10団体 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため3回中止 見学者数1,800人
02	大乗神楽大会	一般	●開催回数 1回 ●出演団体数 7団体 ●見学者数 200人	●大乗神楽大会 1回 出演団体数 7団体 見学者数 50人 ●新春大乗神楽公演 0回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
03	福豆鬼節分会	一般	●開催回数 1回 ●入場者数 4,000人	●開催回数 0回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。代替事業「令和3年節分～疫病退散と地域の絆～」を開催

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	1,378	1,454	1,377	967	
人件費	4,386	5,388	5,946	5,757	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	5,764	6,842	7,323	6,724	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	全公演回数	16回	18回	16回	11回	年間の芸能公演回数(芸能公演、大乗神楽、節分会)
02	出演保存会	32団体	35団体	34団体	17団体	出演した保存会数(芸能公演、大乗神楽、節分会の数)
03	見学者数	6,284人	6,759人	6,903人	1,850人	全公演の見学者数の総数
04	出演1団体当たりコスト	180.12	195.48	215.38	395.52	フルコスト÷02
05	見学者1人当たりコスト	0.91	1.01	1.06	3.63	フルコスト÷03

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

達成状況の分析

新型コロナウイルス感染防止のため、規模縮小や中止があったが、臨時応変に対応しており、その他は順調に実施できている。

問題点・課題等

新型コロナウイルス感染対策を十分にできない事業(福豆鬼節分会など)の再開見通しがたっていない。

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

事業の廃止により重大な問題が発生する

事業の廃止により何らかの問題が発生する

事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

市民生活・企業活動の維持に不可欠

市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している

市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

1. で選択した人の大多数(70%程度)

1. で選択した人の半分程度(50%程度)

1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

民間委託等の拡充は難しい

民間委託等の拡充が十分に可能

全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

今以上の効率化や改善は難しい

効率化や改善を図ることは十分に可能

効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

出演団体及び参加者が増加傾向にあり、市民のニーズが高い事業であることから、より満足度を高めるために駐車場の整備等を行う必要がある。ニーズは高まっているが、限られた人員のなかで運営しているため、拡充は困難である。

■今後の方向性

I. 拡充

II. 継続

III. 縮小

IV. 廃止・休止

V. 完了